

東京フィル創立100周年記念

東京フィルハーモニー交響楽団 With 早川泰子トリオ

弦楽オーケストラとジャズトリオのゴージャスなエンターテイメント



早川 泰子 (ピアノ)

4歳からピアノを始める。中学から秋田市に移り住み、秋田県立秋田高等学校を卒業後、聖霊短期大学音楽科に進む。卒業後はピアノ講師となる。この頃からしだいにジャズに興味を持つようになる。1986年頃、大野三平氏と出会う。氏の強い薦めによりジャズピアニストとしての道を歩み始め、1990年に大野氏プロデュースによるデビューコンサートを開催。以来、秋田市「5spot」を中心にライブ活動を展開。地方を拠点とするミュージシャンとして各地に幅広い層のファンを持ち、今後の活躍が期待されている。

公式ホームページ <http://www.mus-jp.net/jazz/>



山下 弘治 (ベース)

愛知県名古屋市出身。名古屋大学理学部地球科学科卒業。同大学在学中より、地元のライブハウスで活動を開始する。その後、東京でもライブを行うようになり、大学卒業後、1994年に上京。本格的にジャズベーシストとしての道を歩き始める。アコースティックベースの音色を生かした暖かなサウンドとビッグトーンに加え堅実かつ大胆なプレイが高く評価され一躍ライブシーンに登場する。1998年スイングジャーナル誌国内ジャズメン人気投票アコースティックベース部門第5位、1999年同2位、2000年同5位。現在、アルコ奏法を名古屋フィル田中伸幸氏、高西康夫氏に師事。



勘座 光 (ドラム)

兵庫県神戸市出身。大阪音楽大学音楽学部打楽器専攻を卒業し、1998年、奨学金を得てボストン、バークリー音楽大学に留学。2002年、ダウン・ビート誌のアウト・スタンディング・パフォーマンス賞を受賞。同年、オランダでの「ノースシー・ジャズ・フェスティバル」等に出演。同校を卒業後、2003年、アーティスト・ビザを取得してロサンゼルスに移る。これまで、上原ひろみ、ボブ・シェバード、デイヴ・カーペンター、オトマロ・ルイーズ等、多くの著名ミュージシャンらと共に演。今後の躍進が期待される若手プレイヤーとしてメインストリーム、コンテンポラリー、共にバランスの取れたドラミングで東京を中心にライブ、ツア、レコーディング等で活動している。

公式ホームページ www.kokanza.com



鈴木 織衛 (指揮)

東京藝術大学指揮科、同大学院卒。卒業と同時に東京藝術大学、同付属音楽高校、静岡県常葉学園大学教育学部の各校講師となり、指揮法、和声学、ピアノ伴奏法、オーケストラ、スコアリーディング等の講義を担当した。

音楽活動の出発点として1986年より1997年まで、オペラ団体「二期会」において指揮者、副指揮者、合唱指揮者、ピアニスト、編曲家として様々な公演に携わった。また同時期に、斎田正子、錦織健等、人気歌手の伴奏ピアニストとして多くの演奏会に出演した。

オペラ指揮の研究者として、1993年と1997年の2年間、文化庁より奨学金を授与された。

ベルリンでのDeutshes Kammer Orchestra (ドイツ室内管弦楽団) 定期演奏会でデビューの後、現在は、日本のプロフェッショナルオーケストラのコンサート指揮者として、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、群馬交響楽団、札幌交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック交響楽団、京都市交響楽団において継続して演奏会に出演している。多彩かつ豊富な知識から生み出される、明るく歯切れのよいトークを交えた「楽しいクラシック音楽会」が好評である。

2006年は、オーケストラアンサンブル金沢第196回定期公演を指揮、またベストクラシック100コンサートでは、全国11カ所で6つのオーケストラを指揮した。

クラシック以外のアーティストとの競演も多く、嵐 (ジャニーズ)、今井美樹、イルカ、尾崎紀世彦、加藤登紀子、辛島美登里、岡本真夜、岩崎宏美、南こうせつ、雪村いずみ、米良美一、森山良子、各氏のオーケストラコンサートを指揮した。

また、映画音楽のスペシャリストとしてCD「ジェリー ゴールドスミスの世界」「ジョンウィリアムズの世界1,2」がワーナーミュージックよりリリースされている。

指揮活動の他にも、著書「オーケストラを読む本」、静岡新聞連続コラムの執筆、コシノジュンコ、フェンディなど有名デザイナーのファンションショー出演、NHK「プロジェクトX」等のテレビ出演、さらには、自らデザインしたタクトケースが、仏ルイヴィトンのカスタムメイドカタログに掲載される等、多彩な方面に活躍を広げている。



東京フィルハーモニー交響楽団

TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

1911年創立。2011年、日本のオーケストラとして最初の100周年を迎える。約160名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつオーケストラ。2010年4月より、ベルリン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場をはじめとする世界の楽壇で活躍するダン・エッティンガーを常任指揮者に迎え、各方面の多大な注目、期待を集め、より一層の飛躍を期している。

Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会を中心とする自主公演、レギュラー オーケストラである新国立劇場を中心としたオペラ・バレエ演奏、NHKにおける『ニューカマー・オペラコンサート』『名曲アルバム』をはじめ、他の放送演奏など、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。

海外公演も積極的に行い、最近では2005年11月にチョン・ミョンフン指揮で実施した「日中韓未来へのフレンドシップツアー」において、中国最大のイベント「上海国際芸術祭」に招聘され、韓国では「日韓友情年」の中心行事としてソウルをはじめ5都市で公演。各地で絶賛を博し「世界のファーストクラス・オーケストラ」を強く印象づけた。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。また東京都文京区、千葉県千葉市、埼玉県和光市、長野県軽井沢町と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp>

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。

- ① やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。
- ② お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更はできません。
- ③ 演奏中は入退場できません。

④ 小学生のお客様からご入場できます。小学生以上のお客様は入場券が必要です。また、ご入場には1人1枚チケットが必要です。

⑤ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。

⑥ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。